

「こ・こ・ら・ぼ」  
このくわのコカボレーション  
スクールサポーター  
(臨床心理士)  
小林 真理

「知的障害」とは医学用語では「精神遅滞」と言われ、発達全般におくれがみられることがあります。数値が全てではありませんが、世界保健機関(WHO)では知能指数(—IQ)が70未満の場合を精神遅滞、70～85を境界領域知能としています。3歳になつても言葉がでなかつたり増えない、考える力・覚える力・理解する力・判断する力が弱い、言われたことをすぐ忘れる、運動面での不器用さが目立つなど発達全般におくれがみられる場合のことと言います。また、落ち着きのなさ、集中力のなさ、甘える、かんしゃくを起こしやすい、働きかけでも反応がない、なれなれしさなどが幼児期に目立つ特徴もあります。

とはい、「子どもなんてみ

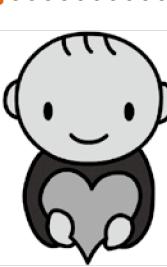
てふれています。

今回は「知的障害」についてふれています。

「知的障害」とは医学用語では「精神遅滞」と言われ、発達全般におくれがみられることがあります。数値が全てではありませんが、世界保健機関(WHO)では知能指数(—IQ)が70未満の場合を精神遅滞、70～85を境界領域知能としています。3歳になつても言葉がでなかつたり増えない、考える力・覚える力・理解する力・判断する力が弱い、言われたことをすぐ忘れる、運動面での不器用さが目立つなど発達全般におくれがみられる場合のことと言います。また、落ち着きのなさ、集中力のなさ、甘える、かんしゃくを起こしやすい、働きかけでも反応がない、なれなれしさなどが幼児期に目立つ特徴もあります。

1年生のころはそれぞれの育ち具合に個人差があるため、何ごとであれ力の付き方にはさまざまなお違いがあります。しかし、学年が上がるにつれて、勉強はちゃんとがんばります。だから友達との関係で事実関係の理解の深さやニュアンスのつまらないじやなかつたのに…とお互いが傷ついてしまうこともあります。

「年齢相応」などと云うと一律画一的に聞こえてしまうラブルが起きてしまったりすることもあります。



スクールサポーター  
(臨床心理士)  
小林 真理

んなそうじゃない」と、保育園や幼稚園のこころには「少しき口一ペース」として捉えられてふれています。

1年生のころはそれぞれの育ち具合に個人差があるため、何ごとであれ力の付き方にはさまざまなお違いがあります。しかし、学年が上がるにつれて、勉強はちゃんとがんばります。だから友達との関係で事実関係の理解の深さやニュアンスのつまらないじやなかつたのに…とお互いが傷ついてしまうこともあります。

そのためにも、早期発見と程度の把握が必要です。客観的実行していくことが大切なことなのです。

また、小学校に入学しても、1年生のころはそれぞれの育ち具合に個人差があるため、何ごとであれ力の付き方にはさまざまなお違いがあります。しかし、学年が上がるにつれて、勉強はちゃんとがんばります。だから友達との関係で事実関係の理解の深さやニュアンスのつまらないじやなかつたのに…とお互いが傷ついてしまうこともあります。

そのためにも、早期発見と程度の把握が必要です。客観的実行していくことが大切なことなのです。